

「4期生卒業論文発表会」

松本 智樹

2016年2月24日、4期生による卒業論文発表会が学術情報総合センターで行われました。この一年間、4期生はそれぞれの設定したテーマについて研究を進めてきました。毎週のゼミ活動では進捗状況を報告し、みんなで議論を交わしてきました。何度も壁にぶち当たり、完成できるのかと一時は思った卒業論文ですが、無事4期生11人全員が書き終え、この日を迎えることができました。

また、4期生にとって今回のプレゼンが宮川ゼミでの最後のプレゼンでした。宮川ゼミで何度もプレゼンを経験してきたわけですが、まさにこの卒業論文プレゼンは集大成になったのではないのでしょうか。思えばゼミに入った当初は皆緊張していたプレゼンですが、今回のプレゼンでは堂々と分かりやすく発表していました。各自の卒論執筆の過程は把握していましたが、結論までは知らない論文もあったので非常に興味深く、それぞれ思いのこもった発表だったので、あっという間の時間でした。

発表後のコメント、質問では論文の課題が明らかになり、ひとりでは決して気づくことが出来なかった視点を得ることができました。私の論文においてもいくつか指摘していただきました。理解が足りていないところや今後の課題など最後の最後まで宮川ゼミは私に発見を与えてくれます。もっとこのメンバーで議論したいと思う瞬間でした。

また、5期生も発表後に質問をしました。まだ宮川ゼミに入ったばかりであるのに、鋭い質問が多く、これからの5期生の活躍がとても楽しみにになりました。

最後に、卒業論文執筆に際して熱く指導して下さった宮川先生、何度も議論を交わしてきた4期生のみんなに心から感謝したいと思います。



本稿は大阪市立大学商学部宮川研究室ゼミ生の活動報告を目的として本学学生が作成したものです。本稿に掲載される個人名や企業名はご本人のご協力を得て掲載許可をいただいています。ただし、内容については執筆者の主観的感想や主張が入っており、事実とは異なる場合があります。本稿の目的以外にご使用にならないようお願いいたします。